

2024 年 1 月 31 日 1 版

動脈破格を有する症例に対する胃癌手術の治療成績の検討

市立福知山市民病院 外科では、当院で胃癌に対して根治手術を施行した症例における動脈破格の保有率およびその治療成績への影響の後ろ向き研究を実施いたします。そのため、当院で上記として診断、治療を受けた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。実施にあたり市立福知山市民病院倫理委員会の承認を受けています。

・研究の目的

胃癌手術において腹腔動脈や総肝動脈などは非常に重要な解剖学的メルクマールでありこれらを手術中に確認しながら操作を行います。これらについてはいくつかの破格が存在します。これまで破格の保有率などは報告されているものの、比較的稀かつ多種多様な破格が存在するためそれによる手術や術後成績への影響についてはまとまった報告がなされていません。今回、当院における胃癌根治手術を行った症例を検討することにより動脈破格がどのような影響を及ぼしているか等を検証します。

・研究の方法

対象となる方について：

2017 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までの期間に市立福知山市民病院外科にて胃癌に対して根治切除手術を受けた患者様が対象となります。

研究期間：

市立福知山市民病院倫理委員会承認後～2024 年 12 月 31 日までの期間

方法：

胃癌に対して根治切除術を受けた方のカルテ情報を調べ、治療成績や合併症の有無などを確認します。患者様のこれまでの背景疾患や治療経過、退院までの期間なども検討します。

研究に用いる試料・情報について：

情報：年齢、性別、PS、既往歴、嗜好歴、常用薬、嵌頓に対する治療歴、手術内容、合併症有無や治療内容、病理検査結果、再発の有無、生存期間、再発後治療内容、血液検査所見（血算、生化学、凝固）、画像所見

・個人情報の取り扱いについて

患者さんの画像検査結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。なお、この研究で得られた情報は研究責任者(市立福知山市民病院 外科 有吉要輔)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・研究組織

市立福知山市民病院 外科 有吉要輔

・お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2024年12月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が学会や論文などで公表されている場合など、廃棄することができない場合があります。

連絡先

市立福知山市民病院 外科

氏名：有吉 要輔

電話：平日 9:00-17:00 0773-22-2101